

[刊行本の紹介]

## 「雪国上越の鳥を見つめて」

上越鳥の会（代表中村雅彦上教大教授）では、先程発足 20 周年を記念して、標記の本を刊行しました。1994 年に刊行した「雪国上越の鳥」の姉妹編ですが、今回は A5 版としてカラー写真は各章折込みで 18 頁 62 点と少なく、記事とコラムを主として編集されています。その中にモノクロ写真やイラストも多く載せてあります。記事は上越鳥の会会員だけでなく、上教大の動物生態学研究室 OB の修論や卒論の一部も、優しく解説して載せてあります。

企画から 5 年の歳月をかけて完成しました。全体で 382 頁あり、読み応えがあり、きっと自然観察指導員の方々にも参考になると思います。定価も 1500 円という格安ですので、是非購入してお読み下さい。主な書店にあります。（上越鳥の会事務局 山本 明）

（新潟日報事業者作成のチラシ）

# 雪国上越の鳥を見つめて

監修／中村雅彦 編著／上越鳥の会

●A5 判／384 頁／ISBN 978-4-86132-236-5 ◎定価 1,500 円（本体 1,429 円＋税）



## 雪国上越の 鳥を見つめて

中村雅彦監修 上越鳥の会編著

鳥は環境の鏡。

鳥を通して上越の自然環境の過去、現在、

そして未来を知る。

四季おりおりによるさまざまな表情を見せる上越の鳥たち。  
上越鳥の会と上越教育大学の学生が地元で粘り強く観察した野鳥の生活を紹介。

新潟日報事業者

## 上越鳥の会 20 周年記念刊行！

豊かな自然とはっきりした四季をもつ上越。そこで生活する野鳥について上越鳥の会の会員と上越教育大学の学生（当時）が粘り強く観察を行った。

上越で観察された野鳥の生態をイラスト、図表を豊富に使い分かりやすく記した観察記録。

各章に口絵、コラムが入って楽しい本文構成、やさしい文体なので読みやすい。

主な内容

もてるツバメ、もてないツバメ

タヌキに餌をあげるアオサギ

溪流の忍者 カワガラス

ハクチョウとカモの面白い関係

※目次より抜粋

発売：新潟日報事業者 出版部／〒951-8131 新潟市中央区白山浦 2 丁目 645-54

TEL025-233-2100 FAX025-230-1833 <http://www.nnj-net.co.jp/> [hanbai@nnj-net.co.jp](mailto:hanbai@nnj-net.co.jp)

新潟日報事業者にお申し込みいただいた場合は送料別途（新潟県内 300 円）頂戴いたします